

令和7年度 全国学力・学習状況調査 指導方法等の改善計画

呉市立昭和中学校
(昭和中学校区)

全国平均値との差

| | 国語 | 数学 |
|----------------|------|------|
| 呉市教育振興基本計画〈指標〉 | +5.0 | +5.0 |
| 令和8年度 | — | — |
| 令和7年度 | -5.0 | -6.0 |
| 令和6年度 | -6.0 | -8.0 |
| 令和5年度 | +4.2 | +3.0 |
| 令和4年度 | -6.0 | -8.4 |

全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組

◎…各学校 ◇…中学校区

| | |
|---|--|
| <p>国語</p> <p>言葉の特徴や使い方</p> <p>読むこと</p> <p>話すこと・聞くこと</p> <p>書くこと</p> <p> 全国平均 (緑点線) 県平均 (青点線) 本校 (赤点線) </p> <p> 本校 <u>50.0%</u> 全国 <u>55.0%</u> 県 <u>54.3%</u> </p> | <p>重点課題</p> <p>◎読み手の立場に立って、語句の用法、叙述の仕方などを確かめてみて、文章を整えることができるかどうかをみることに課題がある。(設問4二)【書くこと】(平均正答率19.0%)</p> <p>◇文章を読むときに、目的に応じて読むことに課題がある。</p> <p>改善の方策</p> <p>◎文章を作成する活動において、ペアやグループでお互いの文章を読み合う場面を設定する。また、自分の文章を吟味するためのポイントを示すようにする。</p> <p>◇読む目的を意識し、文章全体の構成を捉え、目的に応じた情報を取捨選択して要旨をまとめたり、文章を整えたりする活動を取り入れる。</p> <p>検証</p> <p>◎◇全国学力(設問4)(第2学年, 2月) 目標50%→結果53.4%</p> |
| <p>数学</p> <p>数と式</p> <p>データの活用</p> <p>図形</p> <p>関数</p> <p> 全国平均 (緑点線) 県平均 (青点線) 本校 (赤点線) </p> <p> 本校 <u>41.0%</u> 全国 <u>47.0%</u> 県 <u>48.3%</u> </p> | <p>重点課題</p> <p>◎式の意味を読み取り、成り立つ事柄を見だし、数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみることに課題がある。【数と式】(全国平均との差-13.0)</p> <p>◇問題の中から、数についての性質や数量関係を捉えることに課題があり、捉えたことも正しい用語を用いてあらわすことができない。</p> <p>改善の方策</p> <p>◎数や図形の性質が成り立つか調べる活動の際に、目的に応じて式を変形したり、変形した式について説明したりする場面を設定する。</p> <p>◇図や式、文章に着目させて数量関係を捉える活動を通して、解法への筋道を理解させる。</p> <p>検証</p> <p>◎◇全国学力(設問6)(第2学年, 2月) 目標60%→結果60.5%</p> |

【来年度に向けて】

国語、数学ともに検証結果が目標値を上回る結果となった。改善の方策を基に今年度の取組を進めてきた成果が現れた結果であると考えており、来年度に向けて今年度と同様に意識付けをして進めていきたい。